別添１（１）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　筑後広域公園

２　指 定 管 理 者 名：　筑後広域公園振興事業団（代表団体　株式会社アクセス・ジャパン）

３　指　定　期　間：　令和５年４月１日～令和10年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

別添１（２）

（筑後広域公園）

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・きめ細かな経営手法の導入と公民協働の理念に基づいた管理運営により、顧客満足度の向上を目指す。 ・県民、地域住民、事業関係団体、ボランティア団体等全方位のネットワークで組織化し、事業の効果的・効率的運営を図る。 ・花火、ごみ投棄への対策を行う。	・広大な面積を有する自然豊かな公園として、スポーツ、レクリエーション、宿泊など多種多様な施設の維持管理及び運営を適切に行っている。 ・県スポーツ企画課と連携し、10月に開催された国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2025」の出発地点として大会に協力し、その成功に貢献した。 ・花火やゴミなど不法投棄について、見つけ次第注意を行うとともに、注意喚起の看板も設置している。
②施設利用及びサービス向上	・豊かな自然環境を活かした、様々なイベント企画に取り組む。 ・オートキャンプ場の利用促進を行う。 ・BMXパーク認知度向上や、BMXライダーの普及、振興を図る。 ・指定管理者の関連のスポーツ施設や近隣施設、類似施設でパンフレット配布やポスター掲示を行う。	・日本茶講座、スケートボード教室、そば打ち体験やチューリップ球根植え等、豊かな自然環境を活かしたイベントを企画し、賑わいの創出に努めている。 ・キャンプ専門予約サイトで受付を行っている。土日を中心に利用者が多く、リピーターも増加している。 ・BMXに関するイベントの開催を行った。また、BMX初心者には指導も行い、施設利用の促進に努めている。 ・筑後広域公園の案内所や公園の宿、指定管理者の関連施設にてパンフレットを配布し、集客に努めている。 ・筑後広域公園プールがオープンしてから９年間で、施設利用者100万人を達成した。 ・体育館、宿泊施設、プール、ドッグラン等利用者数:337,710(人・頭) （対前年度比106.8%、対Ｈ30年度比140.1%）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	・各種団体への働きかけやイベント誘致等により、利用者数の増加を図る。	・公園の宿において、ネット予約やフェイスブックを活用した集客活動を継続的に行い、利用者数の確保に努めている。 ・体育館、宿泊施設、プール等利用料金収入実績：75,679千円 （対前年度比95.6%、対Ｈ30年度比126.9%） ・委託料実績額：515,950千円 （対前年度比104.0%、対Ｈ30年度比145.0%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・多方面の実務経験者により現場の対応力を確保できる人材を確保する。	・公園管理業務に精通した実務経験者が引き続き従事し、円滑な管理運営を行っている。 ・経験豊富な樹木医を管理責任者として配置している。
⑤施設管理上の個別事項	・緊急時対策教育を行う。	・防火管理者の資格を持った職員による勉強会を実施したほか、緊急時マニュアルを職員に配布し、一部を拡大して事務所内に掲示している。 ・緊急時に備えて、筑後市とみやま市の消防署と協議しドクターヘリ着陸の公園使用許可を行っている。

②点検結果

□ Ａ＋ （提案内容を上回った） ○ Ａ （提案内容をやや上回った） □ Ｂ （概ね提案内容どおり） □ Ｃ （提案内容をやや下回った） □ Ｄ （提案内容を下回った）	【総合コメント】 広大な面積を有する自然豊かな公園として、スポーツ、レクリエーション、宿泊など多種多様な施設の維持管理及び運営を適切に行っている。 花火やゴミなど不法投棄といった迷惑行為については、見つけ次第注意を行うとともに、注意喚起の看板も設置している。 自主事業では、日本茶講座、スケートボード教室、そば打ち体験やチューリップ球根植え等、豊かな自然環境を活かしたイベントを企画し、賑わいの創出に努めている。 オートキャンプ場ではキャンプ専門予約サイトで受付を行っており、土日を中心に利用者が多く、リピーターも増加している。 また、筑後広域公園プールはオープン以来９年間で累計利用者数100万人を達成した。 その他提案内容以外に、県スポーツ企画課と連携し、10月に開催された国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2025」の出発地点として大会に協力し、その成功に貢献した。 以上のように、提案内容をやや上回った、適切な管理運営が行われている。